

インターネットアンケート調査結果

(1) インターネットアンケート調査概要

インターネットアンケートの調査概要を以下に示す。

表 1 「さいたま市の交通の利便性に関する満足度」把握のための調査概要

インターネットアンケートによる市民意識調査の概要	
調査地域	さいたま市全域
調査対象	さいたま市在住の満 18 歳以上の男女
調査対象数	2000 人
調査方法	民間事業者の登録モニターを活用した インターネット調査
調査期間	R5 年 12 月 1～3 日
主な設問	<ul style="list-style-type: none">・ 個人属性・ 交通手段ごとの利用頻度、満足度、重要度・ さいたま市の交通の利便性に関する満足度・ 移動の利便性向上のための取組に対する重要度・ 交通課題に設問

(参考) 設問一覧

《例年と同様の設問》

- 問 1 あなたがお住まいの区を教えてください。
- 問 2 あなたが自由に使える自動車の有無を教えてください。
- 問 3 交通手段ごとの利用頻度を教えてください。また、その手段を利用する主な目的を教えてください。
- 問 4 さいたま市における交通手段ごとの利便性に対する満足度を教えてください。
- 問 5 さいたま市における交通の利便性に対する総合的な満足度を教えてください。
- 問 6 さいたま市における交通手段ごとの重要性を教えてください。
- 問 7 さいたま市における鉄道とバスのサービスに対する満足度を教えてください。

《今年度の調査で追加している設問》

- 問 8 あなたのお住まいの最寄り駅を教えてください。また、お住まいから最寄り駅までの概ねの距離をお答えください。
- 問 9 あなたのお住まいの最寄りのバス停について知っていることを教えてください。
- 問 10 あなたのお住まいから最寄りのバス停までの徒歩での概ねの所要時間をお答えください。
- 問 11 あなたが路線バスを日常的に利用したいと思える最低限の運行頻度を教えてください。
- 問 12 さいたま市では路線バスが不十分な地域へ導入する補完交通としてコミュニティバスを運行しております。コミュニティバスが運行されていることを知っていましたか。
- 問 13 さいたま市では路線バスが不十分な地域へ導入する補完交通として、乗合タクシーを運行しております。乗合タクシーが運行されていることを知っていましたか。
- 問 14 免許を返納するなど自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、日常的な移動手段に不安がありますか。
- 問 15 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、具体的にどのようなことを不安に思うか教えてください。
- 問 16 日常生活においてどのような移動の時に最も困っているか、その場面について教えてください。また、具体的にその内容を教えてください。
- 問 17 今後 IT 技術などが発展することで様々なサービスが受けられるようになります。この内容を受けて、あなたのライフスタイルにとって都市や移動が将来的にどうなってほしいか教えてください。

(2) インターネットアンケート調査結果

インターネットアンケートの調査結果を以下に示す。

1) アンケート回答状況

- 相対的に年齢が高い層からの回答が多く見られた。
- 男女比はほぼ同数であった。
- 回答者の約7割が既婚者であった。

表 2 アンケート回答状況（性年齢別）

		回答数	%			回答数	%
全体		2000	100.0				
1	男性/18-24歳	17	0.9	1	男性/18-24歳	49,033	4.3
2	男性/25-34歳	90	4.5	2	男性/25-34歳	82,491	7.2
3	男性/35-44歳	183	9.2	3	男性/35-44歳	92,135	8.1
4	男性/45-54歳	247	12.4	4	男性/45-54歳	110,503	9.7
5	男性/55-64歳	333	16.7	5	男性/55-64歳	86,985	7.6
6	男性/65歳以上	288	14.4	6	男性/65歳以上	139,349	12.2
7	女性/18-24歳	51	2.6	7	女性/18-24歳	47,180	4.1
8	女性/25-34歳	124	6.2	8	女性/25-34歳	81,412	7.2
9	女性/35-44歳	171	8.6	9	女性/35-44歳	87,581	7.7
10	女性/45-54歳	201	10.1	10	女性/45-54歳	105,597	9.3
11	女性/55-64歳	181	9.1	11	女性/55-64歳	82,899	7.3
12	女性/65歳以上	114	5.7	12	女性/65歳以上	173,128	15.2

(参考) さいたま市制年齢別人口 令和5年12月1日現在

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

表 3 アンケート回答状況（性別）

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	男性	1158	57.9
2	女性	842	42.1

表 4 アンケート回答状況（未婚・既婚）

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	未婚	586	29.3
2	既婚（離別・死別含む）	1414	70.7

- 会社員（24.9%）が最も多く、次いで無職（16.7%）、専業主婦（13.8%）の方の回答が多く見られた。（無職は、リタイアされた高齢者だと考えられる。）
- 居住区別の回答数は概ね人口の割合と同じとなっている。

表 5 アンケート回答状況（職業）

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	会社勤務（一般社員）	497	24.9
2	会社勤務（管理職）	191	9.6
3	会社経営（経営者・役員）	40	2.0
4	公務員・教職員・非営利団体職員	94	4.7
5	派遣社員・契約社員	123	6.2
6	自営業（商工サービス）	55	2.8
7	SOHO	16	0.8
8	農林漁業	2	0.1
9	専門職（弁護士・税理士等・医療関連）	51	2.6
10	パート・アルバイト	256	12.8
11	専業主婦・主夫	276	13.8
12	学生	37	1.9
13	無職	334	16.7
14	その他の職業	28	1.4

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

表 6 アンケート回答状況（居住区）

		回答数	%	(参考) さいたま市別人口 令和5年12月1日現在	
全体		2000	100.0	区名	人口 割合
1	岩槻区	116	5.8	西区	95,318 7.1
2	緑区	200	10.0	北区	150,340 11.2
3	南区	295	14.8	大宮区	124,741 9.3
4	浦和区	281	14.1	見沼区	165,092 12.3
5	桜区	123	6.2	中央区	103,142 7.7
6	中央区	166	8.3	桜区	96,505 7.2
7	見沼区	237	11.9	浦和区	169,459 12.6
8	北区	228	11.4	南区	194,319 14.4
9	西区	114	5.7	緑区	133,527 9.9
10	大宮区	240	12.0	岩槻区	112,432 8.4

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

2) 交通手段に関するアンケート調査結果

実施した交通手段に関するアンケート結果を下記に示す。

① 利用頻度

- 1週間に3日以上利用する頻度の高い交通手段は、主に徒歩（45.0%）、鉄道（34.2%）、自転車（24.5%）、自動車（自分で運転）（21.9%）であった。
- 自動車（自分以外が運転）は全体の利用はあるものの、1週間に3日以上利用するのはわずか4.0%と低かった。
- ほとんど利用しない交通手段は、シェアサイクル（95.2%）、自動二輪（93.0%）、高速バス（91.2%）、コミュニティバス・乗合タクシー（91.2%）であった。

	鉄道		高速バス		路線バス		コミュニティバス・乗合タクシー		自動車（自分で運転）		自動車（自分以外が運転）	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1週間に3日以上	684	34.2	4	0.2	99	5.0	5	0.3	438	21.9	79	4.0
1週間に1～2日	223	11.2	13	0.7	79	4.0	13	0.7	474	23.7	315	15.8
1ヶ月に1～2日	362	18.1	14	0.7	218	10.9	34	1.7	130	6.5	256	12.8
1年に数回	306	15.3	145	7.3	366	18.3	124	6.2	88	4.4	271	13.6
（ほとんど）利用しない	425	21.3	1824	91.2	1238	61.9	1824	91.2	870	43.5	1079	54.0

	タクシー		自動二輪		自転車		シェアサイクル		徒歩	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1週間に3日以上	11	0.6	41	2.1	490	24.5	5	0.3	900	45.0
1週間に1～2日	24	1.2	36	1.8	287	14.4	16	0.8	395	19.8
1ヶ月に1～2日	110	5.5	30	1.5	180	9.0	22	1.1	186	9.3
1年に数回	507	25.4	34	1.7	127	6.4	54	2.7	99	5.0
（ほとんど）利用しない	1348	67.4	1859	93.0	916	45.8	1903	95.2	420	21.0

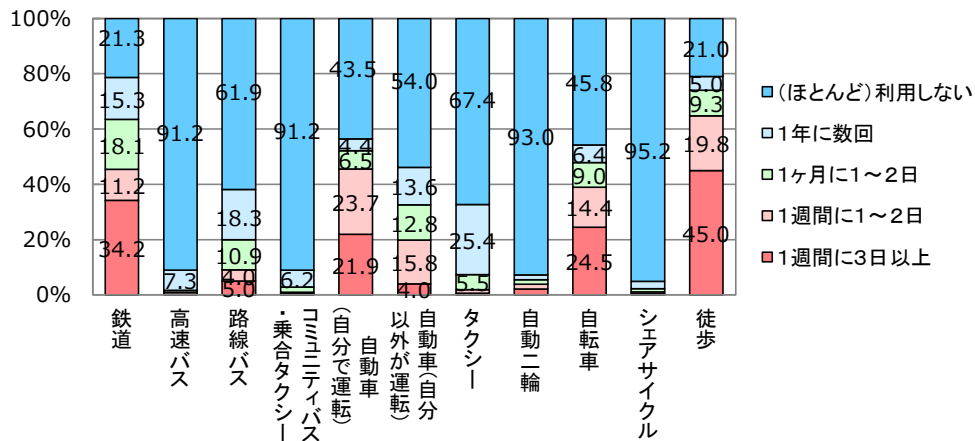


図1 交通手段別の利用頻度

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

(i) 鉄道の利用頻度（最寄り駅までの距離別）

- 最寄り駅までの距離が 1,500m までは約 4 割が 1 週間に 3 日以上利用している。
- 最寄り駅までの距離が 1,500m 以上では「1 週間に 3 日以上利用」は約 3 割で、「(ほとんど) 利用しない」も約 3 割である。

	最寄り駅までの距離									
	500m未満		500～1,000m未満		1,000～1,500m未満		1,500m以上		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
鉄道の利用頻度（計）	240	100.0	644	100.0	412	100.0	518	100.0	186	100.0
1週間に3日以上	96	40.0	233	36.2	160	38.8	148	28.6	47	25.3
1週間に1～2日	39	16.3	89	13.8	40	9.7	39	7.5	16	8.6
1ヶ月に1～2日	39	16.3	122	18.9	81	19.7	92	17.8	28	15.1
1年に数回	31	12.9	96	14.9	56	13.6	97	18.7	26	14.0
(ほとんど) 利用しない	35	14.6	104	16.1	75	18.2	142	27.4	69	37.1

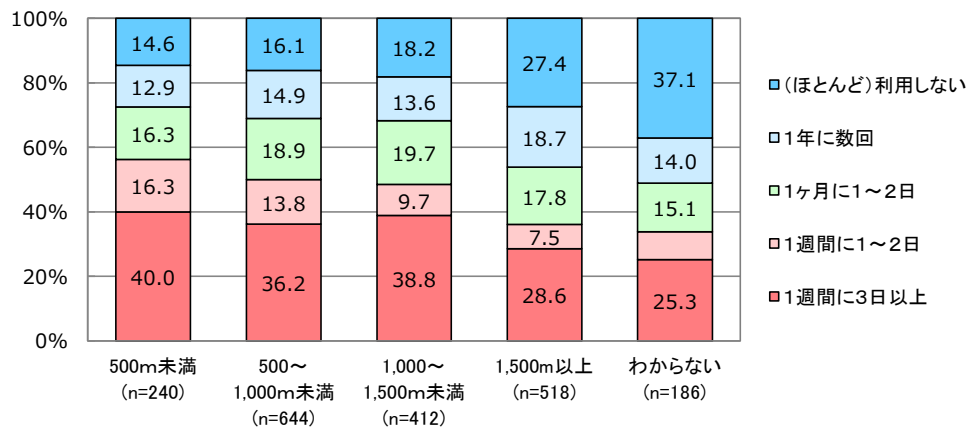


図 2 鉄道の利用頻度（最寄り駅までの距離別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

(ii) 路線バスの利用頻度（最寄りバス停までの距離別）

□ 最寄りバス停までの距離が 300m 未満では、1 週間に 1 回以上路線バスを利用しているのは 12.6%であった。

	最寄りバス停までの距離									
	300m未満		300～500m未満		500～800m未満		800～1,000m未満		1,000m以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
路線バスの利用頻度（計）	703	100.0	449	100.0	180	100.0	67	100.0	26	100.0
1週間に3日以上	48	6.8	26	5.8	11	6.1	3	4.5	2	7.7
1週間に1～2日	41	5.8	18	4.0	7	3.9	2	3.0	0	0.0
1ヶ月に1～2日	95	13.5	63	14.0	26	14.4	5	7.5	3	11.5
1年に数回	148	21.1	103	22.9	32	17.8	13	19.4	5	19.2
（ほとんど）利用しない	371	52.8	239	53.2	104	57.8	44	65.7	16	61.5

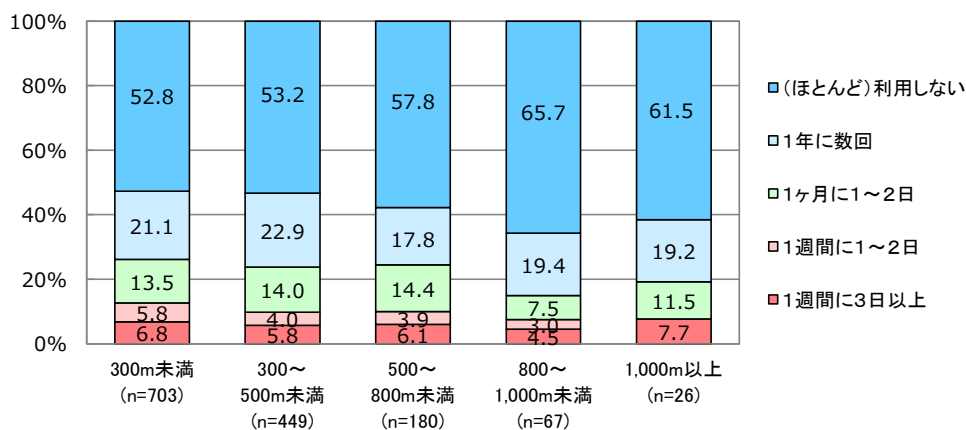


図 3 路線バスの利用頻度（最寄りバス停までの距離別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

② 利用目的

- 鉄道の利用目的は通勤（47.5%）の回答割合が多かった。買物目的は、徒歩（46.7%）、自動車（自分で運転）（47.4%）、自転車（51.9%）での回答割合が多かった。
- 高速バスの利用目的は観光・行楽・レジャー（49.4%）の回答割合が多かった。

	鉄道		高速バス		路線バス		コミュニティバス・乗合タクシー		自動車（自分で運転）		自動車(自分以外が運転)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	1575	100.0	176	100.0	762	100.0	176	100.0	1130	100.0	921	100.0
通勤	748	47.5	12	6.8	180	23.6	17	9.7	179	15.8	47	5.1
通学	31	2.0	7	4.0	12	1.6	2	1.1	9	0.8	8	0.9
業務	45	2.9	15	8.5	46	6.0	14	8.0	49	4.3	44	4.8
買物	138	8.8	8	4.5	91	11.9	31	17.6	536	47.4	347	37.7
食事・社交・娯楽	172	10.9	9	5.1	88	11.5	17	9.7	46	4.1	82	8.9
観光・行楽・レジャー	186	11.8	87	49.4	100	13.1	19	10.8	152	13.5	194	21.1
通院	81	5.1	1	0.6	67	8.8	18	10.2	23	2.0	11	1.2
その他の私用	136	8.6	21	11.9	132	17.3	33	18.8	69	6.1	86	9.3
送迎	2	0.1	0	0.0	3	0.4	1	0.6	43	3.8	50	5.4
その他	36	2.3	16	9.1	43	5.6	24	13.6	24	2.1	52	5.6

	タクシー		自動二輪		自転車		シェアサイクル		徒歩	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	652	100.0	141	100.0	1084	100.0	97	100.0	1580	100.0
通勤	45	6.9	39	27.7	243	22.4	12	12.4	281	17.8
通学	6	0.9	4	2.8	21	1.9	5	5.2	20	1.3
業務	79	12.1	5	3.5	15	1.4	2	2.1	23	1.5
買物	24	3.7	29	20.6	563	51.9	14	14.4	738	46.7
食事・社交・娯楽	76	11.7	4	2.8	42	3.9	6	6.2	77	4.9
観光・行楽・レジャー	106	16.3	31	22.0	23	2.1	17	17.5	42	2.7
通院	69	10.6	2	1.4	31	2.9	0	0.0	41	2.6
その他の私用	142	21.8	12	8.5	99	9.1	21	21.6	238	15.1
送迎	46	7.1	1	0.7	14	1.3	1	1.0	7	0.4
その他	59	9.0	14	9.9	33	3.0	19	19.6	113	7.2

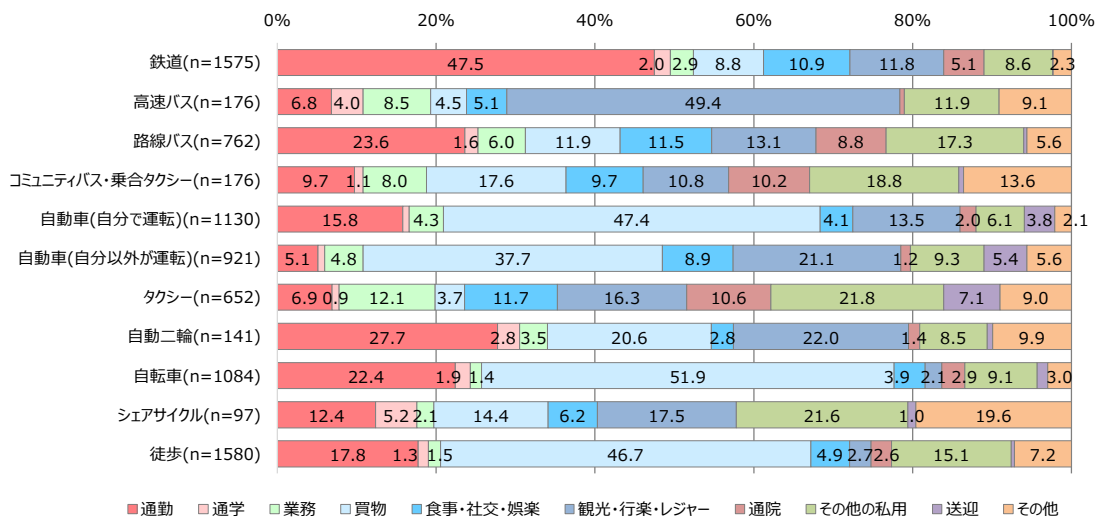


図 4 交通手段別の利用目的（「1年に数回」以上利用する人）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

③ 満足度（交通手段別）

- 満足度が高い交通手段は、鉄道、徒歩、自動車、自転車となり、利用頻度の高い交通手段と同様の傾向がみられた。
- 不満・やや不満の回答割合が多い交通手段は、路線バス（14.2%）、コミュニティバス・乗合タクシー（14.0%）であった。

	鉄道		高速バス		路線バス		コミュニティバス ・乗合タクシー		自動車	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	672	33.6	141	7.1	261	13.1	103	5.2	475	23.8
やや満足	633	31.7	213	10.7	415	20.8	180	9.0	484	24.2
どちらともいえない	512	25.6	1443	72.2	1040	52.0	1438	71.9	900	45.0
やや不満	119	6.0	106	5.3	176	8.8	146	7.3	84	4.2
不満	64	3.2	97	4.9	108	5.4	133	6.7	57	2.9

	タクシー		自動二輪		自転車		シェアサイクル		徒歩	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	183	9.2	113	5.7	390	19.5	102	5.1	567	28.4
やや満足	313	15.7	153	7.7	471	23.6	184	9.2	582	29.1
どちらともいえない	1287	64.4	1585	79.3	978	48.9	1538	76.9	731	36.6
やや不満	131	6.6	58	2.9	92	4.6	75	3.8	67	3.4
不満	86	4.3	91	4.6	69	3.5	101	5.1	53	2.7

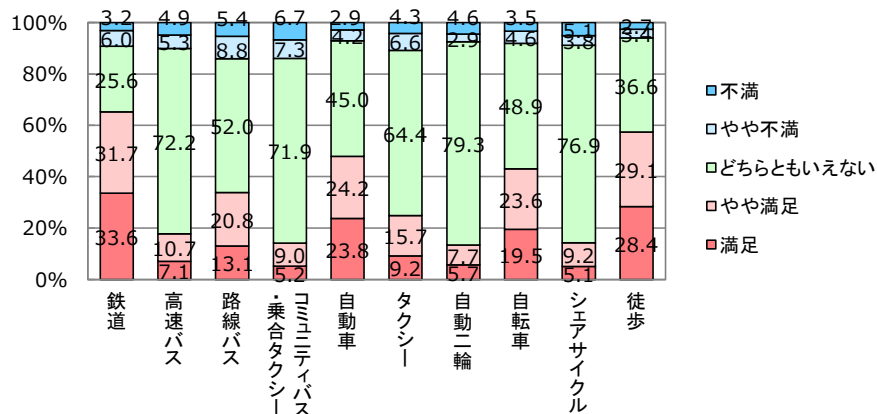


図 5 交通手段別の満足度

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

- 「(ほとんど) 利用しない」を除いた場合の満足度では、満足度が高い交通手段は、鉄道、徒歩、自転車、自動車となり、利用頻度の高い交通手段と同様の傾向がみられた。
- 不満・やや不満の回答割合が多い交通手段は、コミュニティバス・乗合タクシー (18.2%)、路線バス (15.6%)、シェアサイクル (15.5%) であった。

	鉄道		高速バス		路線バス		コミュニティバス・乗合タクシー		自動車	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	1575	100.0	176	100.0	762	100.0	176	100.0	2051	100.0
満足	606	38.5	31	17.6	160	21.0	21	11.9	648	31.6
やや満足	556	35.3	55	31.3	261	34.3	55	31.3	672	32.8
どちらともいえない	282	17.9	73	41.5	222	29.1	68	38.6	592	28.9
やや不満	96	6.1	13	7.4	96	12.6	21	11.9	103	5.0
不満	35	2.2	4	2.3	23	3.0	11	6.3	36	1.8

	タクシー		自動二輪		自転車		シェアサイクル		徒歩	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	652	100.0	141	100.0	1084	100.0	97	100.0	1580	100.0
満足	97	14.9	39	27.7	336	31.0	15	15.5	515	32.6
やや満足	176	27.0	52	36.9	376	34.7	36	37.1	532	33.7
どちらともいえない	305	46.8	35	24.8	303	28.0	31	32.0	453	28.7
やや不満	53	8.1	8	5.7	49	4.5	11	11.3	54	3.4
不満	21	3.2	7	5.0	20	1.8	4	4.1	26	1.6

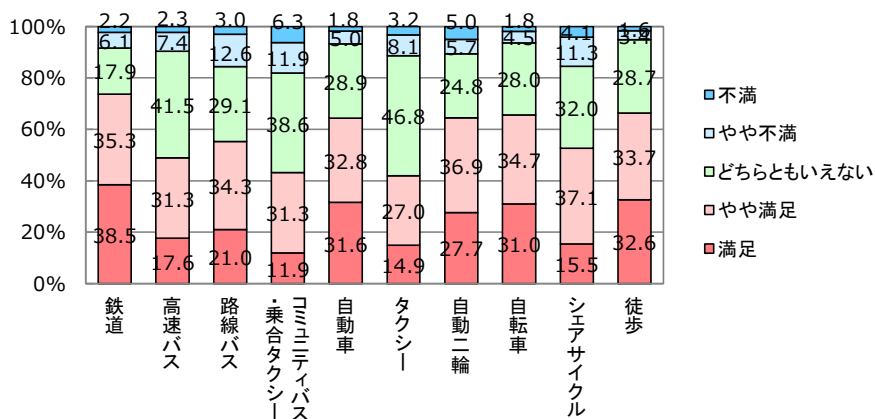


図 6 交通手段別の満足度（「(ほとんど) 利用しない」を除く）

※自動車は、「自動車（自分で運転）」と「自動車（自分以外が運転）」の合計

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

《過年度との比較》

(i) 鉄道の満足度

- 鉄道について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定しても、昨年度より増加している。

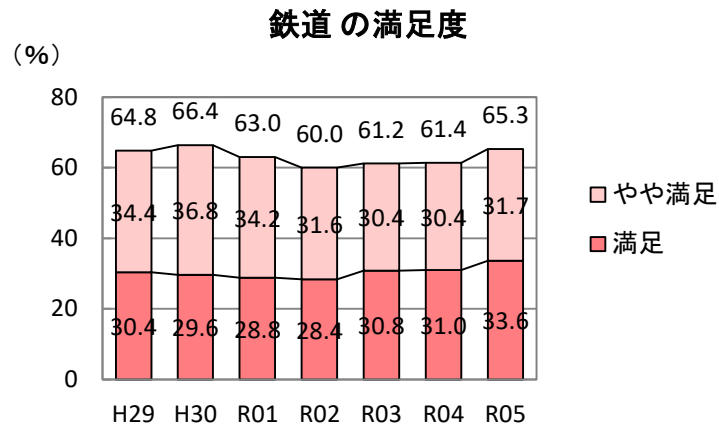


図 7 鉄道の満足度の推移

(ii) 高速バスの満足度

- 高速バスについて、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定しても、昨年度より増加している。

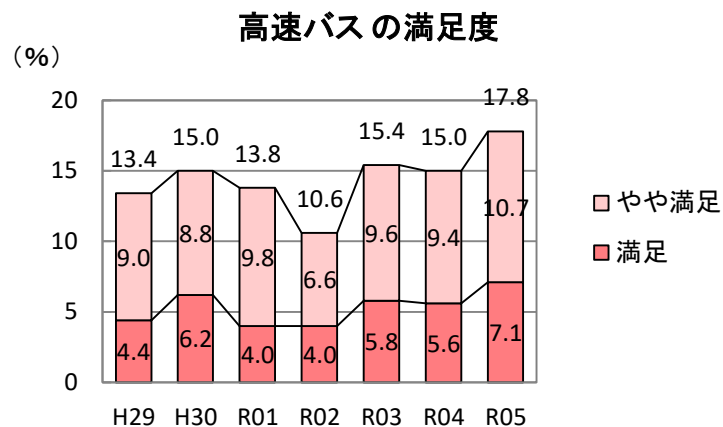


図 8 高速バスの満足度の推移

(iii) 路線バスの満足度

- 路線バスについて、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定しても、昨年度より増加している。

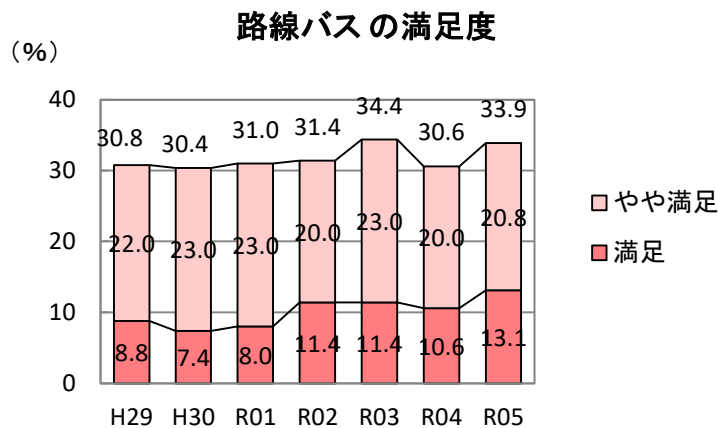


図 9 路線バスの満足度の推移

(iv) コミュニティバス・乗合タクシーの満足度

- コミュニティバス・乗合タクシーについて、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定すると、昨年度から横ばいである。

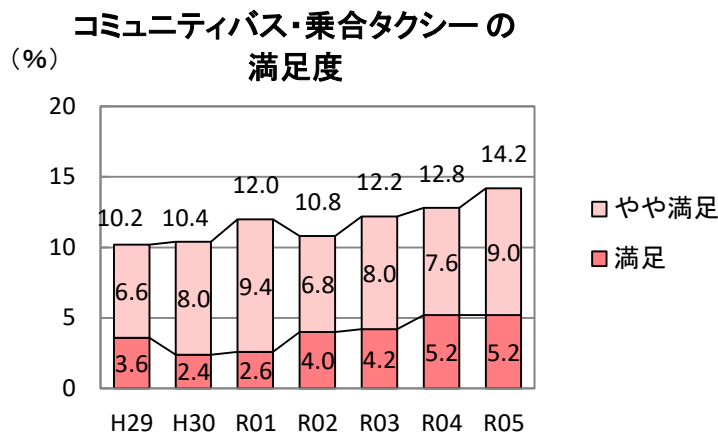


図 10 コミュニティバス・乗合タクシーの満足度の推移

※H29年度は乗合タクシーを含まない

(v) 自動車の満足度

- 自動車について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定しても、昨年度より増加している。

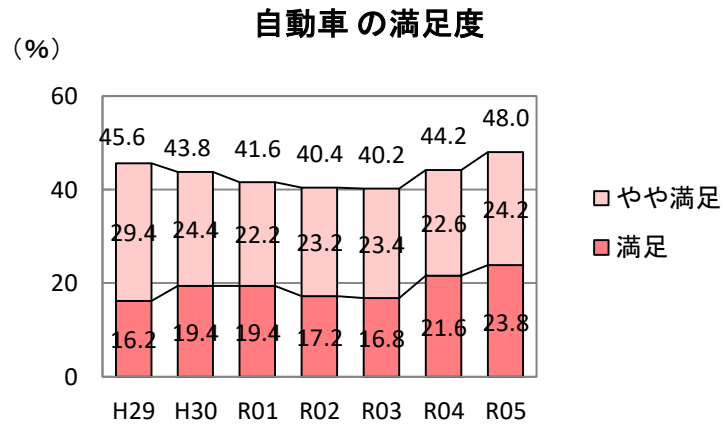


図 11 自動車の満足度の推移

(vi) タクシーの満足度

- 「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、24.9%であった。

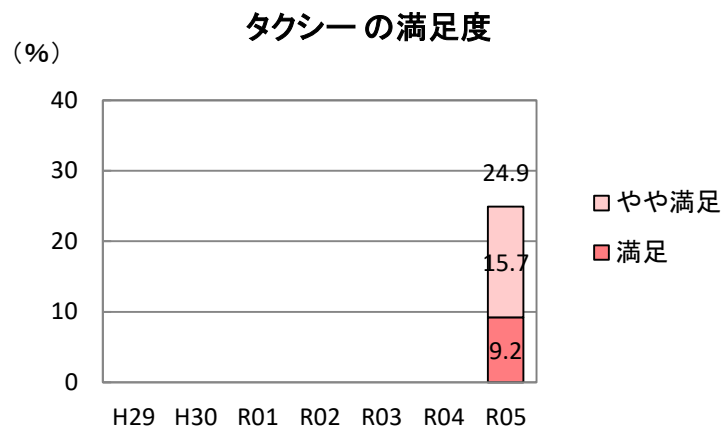


図 12 タクシーの満足度の推移

※タクシーについては、R4年度以前は調査していない。

(vii) 自動二輪の満足度

- 自動二輪について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より増加している。
- 「満足」のみに限定しても、昨年度より増加している。

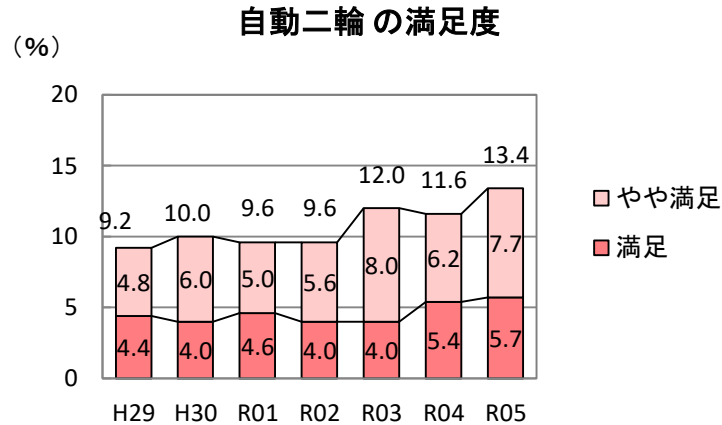


図 13 自動二輪の満足度の推移

(viii) 自転車の満足度

- 自転車について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より大幅に増加している。
- 「満足」のみに限定しても、増加している。

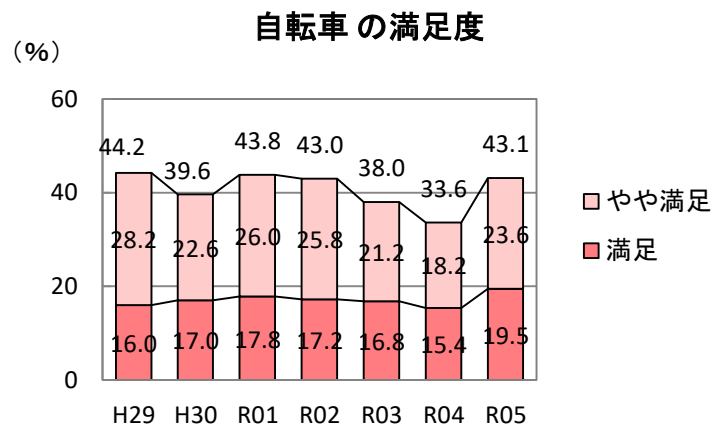


図 14 自転車の満足度の推移

※R4年度以前はシェアサイクルを含む

(ix) シェアサイクルの満足度

□ シェアサイクルについて、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、14.3%であった。

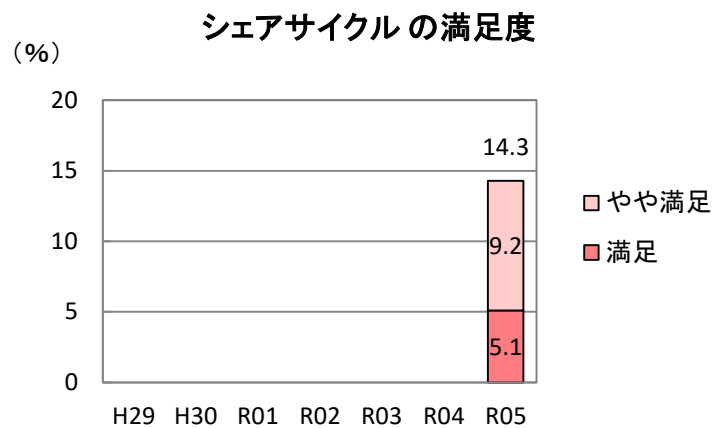


図 15 シェアサイクルの満足度の推移

※R4年度以前は「自転車・シェアサイクルの満足度」で調査

(x) 徒歩の満足度

□ 徒歩について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より微減している。

□ 「満足」のみに限定すると、昨年度より増加している。

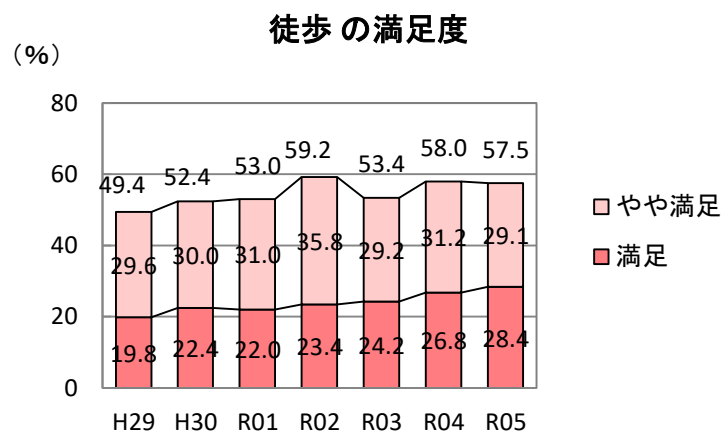


図 16 徒歩の満足度の推移

④ 満足度（総合）

□ 総合的に、交通利便性に対して約 60%が満足・やや満足しているという結果であった。

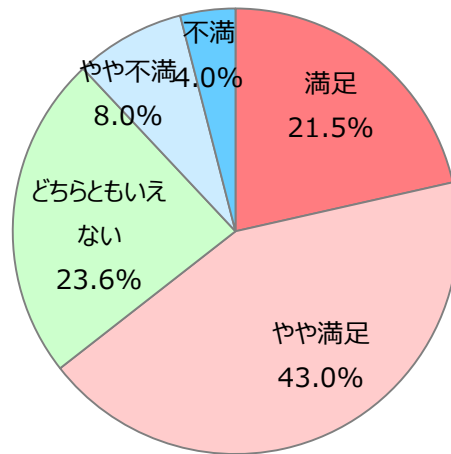


図 17 満足度（総合）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

《過年度との比較》

□ 総合的な満足度について、「満足」、「やや満足」を合わせた割合は、昨年度より微増している。
 □ 「満足」のみに限定しても、同様に微増している。

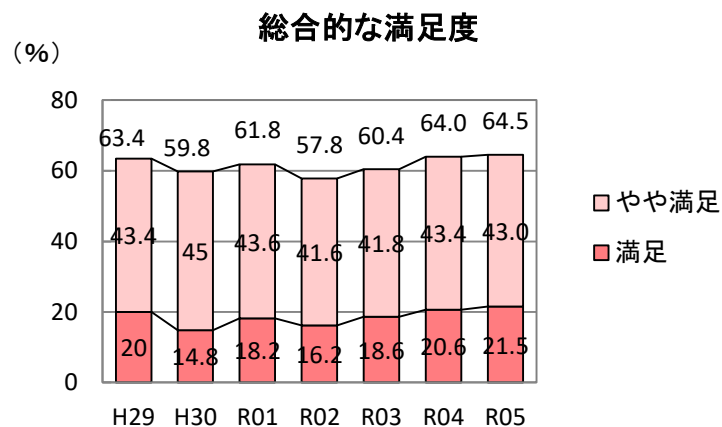


図 18 満足度（総合）の推移

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

(i) 満足度（総合／年代別）

□ 交通利便性に対して満足・やや満足している割合は、年代別では 18-24 歳（76.4%）、65 歳以上（69.6%）で比較的高く、25-64 歳では約 6 割という結果であった。

	18-24歳		25-34歳		35-44歳		45-54歳		55-64歳		65歳以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	68	100.0	214	100.0	354	100.0	448	100.0	514	100.0	402	100.0
満足	23	33.8	37	17.3	75	21.2	86	19.2	113	22.0	95	23.6
やや満足	29	42.6	93	43.5	155	43.8	193	43.1	205	39.9	185	46.0
どちらともいえない	12	17.6	60	28.0	97	27.4	100	22.3	132	25.7	71	17.7
やや不満	2	2.9	19	8.9	20	5.6	40	8.9	44	8.6	35	8.7
不満	2	2.9	5	2.3	7	2.0	29	6.5	20	3.9	16	4.0

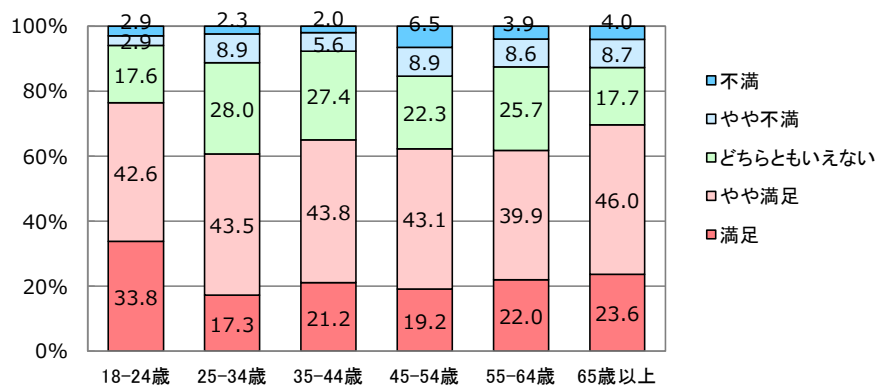


図 19 満足度（総合／年代別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

(ii) 満足度（総合／区別）

□ 交通利便性に対して満足・やや満足している割合は、区別では大宮区（78.7%）、浦和区（73.7%）で比較的高く、岩槻区（47.4%）、西区（47.3%）は低いという結果であった。

	岩槻区		緑区		南区		浦和区		桜区	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	116	100.0	200	100.0	295	100.0	281	100.0	123	100.0
満足	14	12.1	26	13.0	77	26.1	73	26.0	17	13.8
やや満足	41	35.3	90	45.0	122	41.4	134	47.7	55	44.7
どちらともいえない	29	25.0	56	28.0	71	24.1	54	19.2	28	22.8
やや不満	17	14.7	18	9.0	19	6.4	16	5.7	14	11.4
不満	15	12.9	10	5.0	6	2.0	4	1.4	9	7.3

	中央区		見沼区		北区		西区		大宮区	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	166	100.0	237	100.0	228	100.0	114	100.0	240	100.0
満足	40	24.1	38	16.0	53	23.2	11	9.6	80	33.3
やや満足	66	39.8	99	41.8	101	44.3	43	37.7	109	45.4
どちらともいえない	45	27.1	62	26.2	50	21.9	35	30.7	42	17.5
やや不満	10	6.0	26	11.0	16	7.0	17	14.9	7	2.9
不満	5	3.0	12	5.1	8	3.5	8	7.0	2	0.8

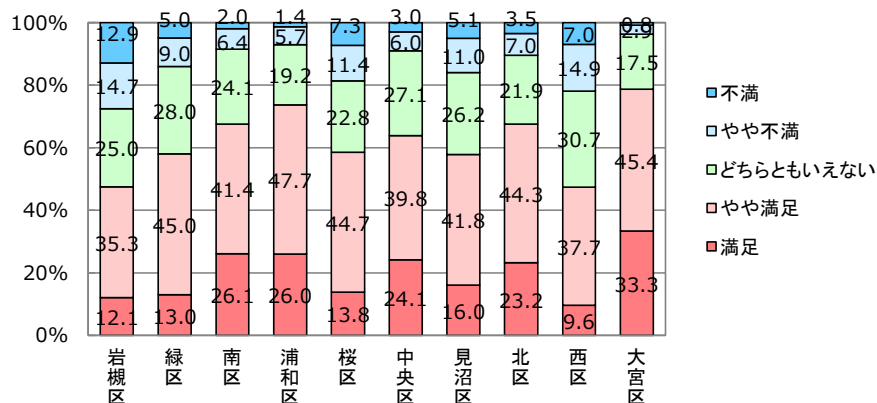


図 20 満足度（総合／区別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

⑤ 重要性

- 重要な交通手段と考えられているのは、鉄道、徒歩、自動車、自転車と利用頻度や満足度と同じ結果だが、それに加え路線バスが6割と高くなっている。
- 重要性が低かったのは、高速バス、自動二輪、シェアサイクルで、利用頻度の低い交通手段と同じであった。
- 鉄道は全体でもおよそ8割が重要・やや重要と回答しているが、細かく見ると、重要が61.1%と半数以上でさらに重要性の高さを感じていることがわかる。

	鉄道		高速バス		路線バス		コミュニティバス ・乗合タクシー		自動車	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
重要	1221	61.1	149	7.5	584	29.2	254	12.7	671	33.6
やや重要	437	21.9	275	13.8	573	28.7	409	20.5	518	25.9
どちらともいえない	290	14.5	918	45.9	630	31.5	965	48.3	649	32.5
あまり重要でない	29	1.5	364	18.2	108	5.4	177	8.9	78	3.9
重要でない	23	1.2	294	14.7	105	5.3	195	9.8	84	4.2

	タクシー		自動二輪		自転車		シェアサイクル		徒歩	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
重要	218	10.9	134	6.7	557	27.9	151	7.6	835	41.8
やや重要	476	23.8	176	8.8	566	28.3	290	14.5	536	26.8
どちらともいえない	1004	50.2	1075	53.8	669	33.5	1067	53.4	556	27.8
あまり重要でない	172	8.6	249	12.5	94	4.7	195	9.8	31	1.6
重要でない	130	6.5	366	18.3	114	5.7	297	14.9	42	2.1

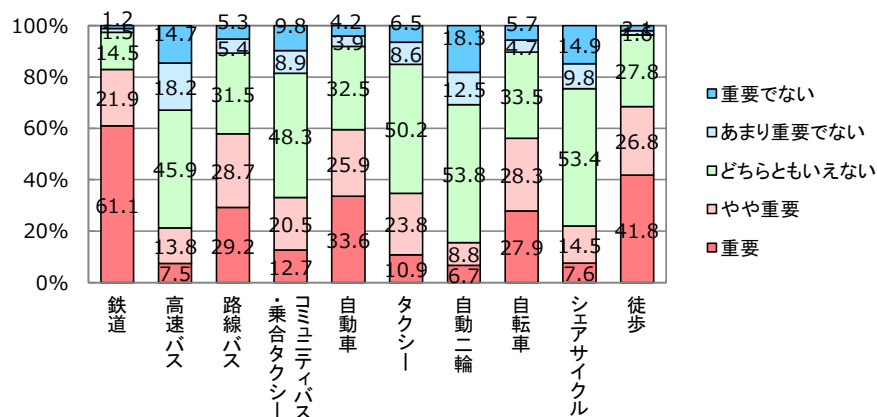


図 21 交通手段の重要性

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

⑥ 自由に使える自動車の有無

- ほぼ自分専用の車がある、家族共用の自動車があるとの回答者は約 6 割みられる。
- 運転免許は持っているが自動車がない人が約 2 割、そもそも運転免許を持っていない、もしくは返納した人も 2 割弱程度みられる。
- 運転免許は持っているが自動車がない人は、昨年度より減少している。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	ほぼ自分専用の自動車がある	680	34.0
2	家族共用の自動車がある	558	27.9
3	ない	461	23.1
4	そもそも自動車運転免許を持っていない(返納した)	301	15.1

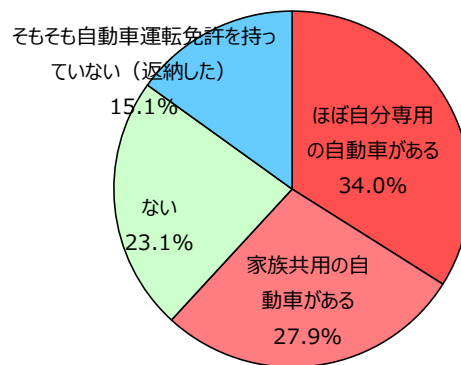


図 22 自由に使える自動車の割合

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

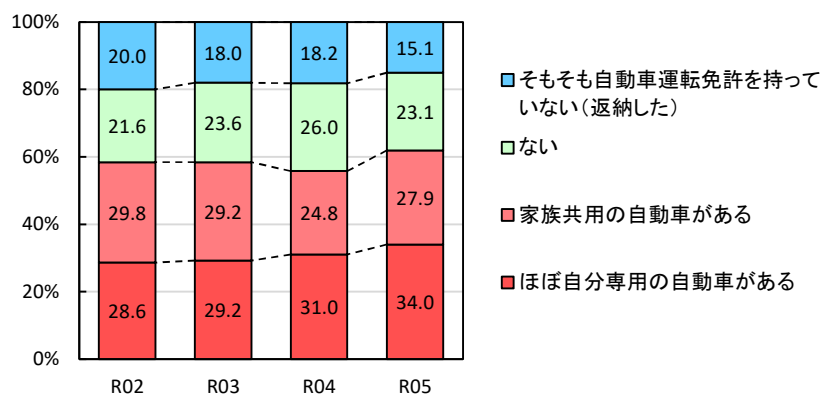


図 23 自由に使える自動車の有無の推移

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

⑦ さいたま市における鉄道とバスのサービスに対する満足度

- 鉄道の車内の混雑状況に対して、約 2 割が満足・やや満足しているが、約 3 割が不満・やや不満という結果であった。
- 鉄道駅施設（バリアフリー対応、待合室等）に対して、約 2 割強が満足・やや満足しているが、約 2 割弱が不満・やや不満という結果であった。
- バス停環境（上屋、ベンチ、運行情報等）に対して、約 2 割弱が満足・やや満足しているが、約 3 割弱が不満・やや不満という結果であった。

	鉄道の車内の混雑状況		鉄道駅施設（バリアフリー対応、待合室等）		バス停環境（上屋、ベンチ、運行情報等）	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
満足	130	6.5	150	7.5	111	5.6
やや満足	279	14.0	305	15.3	234	11.7
普通	780	39.0	983	49.2	911	45.6
やや不満	386	19.3	235	11.8	310	15.5
不満	287	14.4	127	6.4	193	9.7
わからない	138	6.9	200	10.0	241	12.1

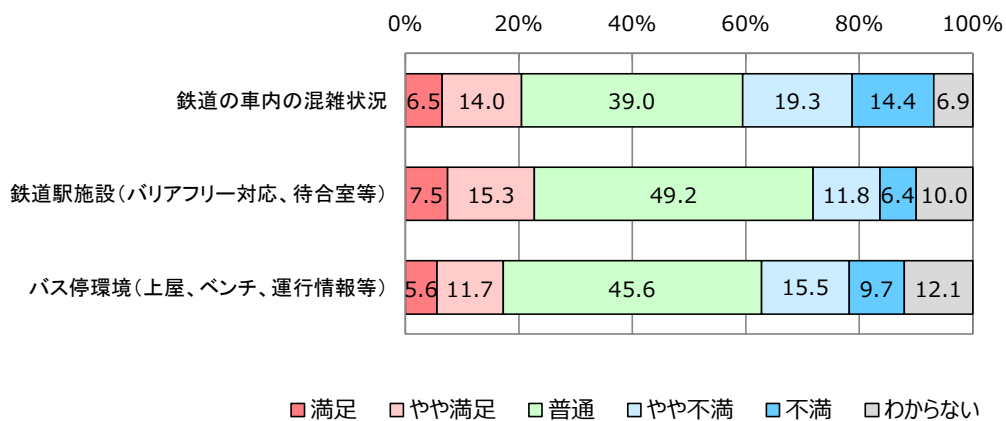


図 24 さいたま市における鉄道とバスのサービスに対する満足度

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

《過年度との比較》 H29 年度市民意識調査

	鉄道の車内の混雑状況		鉄道駅施設（バリアフリー対応、待合室等）		バス停環境（上屋、ベンチ、運行情報等）	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	329	100.0	331	100.0	312	100.0
満足	12	3.6	23	6.9	14	4.5
やや満足	19	5.8	41	12.4	17	5.4
普通	123	37.4	160	48.3	97	31.1
やや不満	87	26.4	61	18.4	75	24.0
不満	77	23.4	29	8.8	61	19.6
わからない	11	3.3	17	5.1	48	15.4

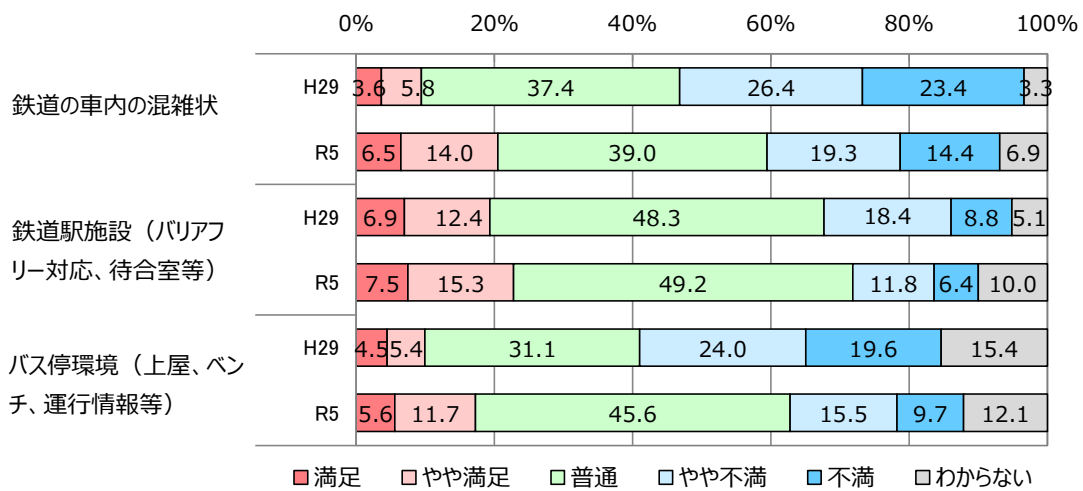


図 25 さいたま市における鉄道とバスのサービスに対する満足度（H29 年度／R5 年度比較）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

⑧ 住まいから最寄り駅までの距離

- 住まいから最寄り駅までの距離は、500m未満・500～1,000m未満で約4割強という結果であった。
- 最寄り駅まで1,500m以上は約3割弱であった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	500m未満	240	12.0
2	500～1,000m未満	644	32.2
3	1,000～1,500m未満	412	20.6
4	1,500m以上	518	25.9
5	わからない	186	9.3

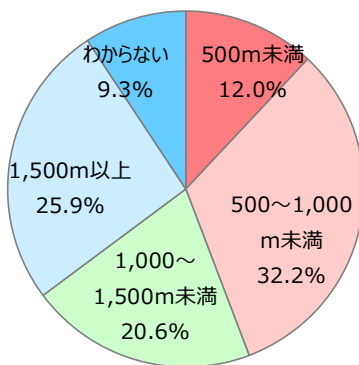


図 26 住まいから最寄り駅までの距離

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

⑨ 住まいから最寄りのバス停について

- 住まいから最寄りのバス停について、約7割が最寄りバス停の場所を知っていた。最寄りバス停からの主な行き先を知っているのは約3割であった。
- 最寄りバス停の場所を知っている方のうち、住まいからの距離が300m未満は約5割であった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	最寄りバス停の場所を知っている	1425	71.3
2	最寄りバス停の名称を知っている	452	22.6
3	最寄りバス停の主な行き先を知っている	662	33.1
4	最寄りバス停のおおまかな運行頻度を知っている	412	20.6
5	いずれも知らなかった	462	23.1

図 27 最寄りのバス停について知っていること

		回答数	%
全体		1425	100.0
1	300m未満	703	49.3
2	300～500m未満	449	31.5
3	500～800m未満	180	12.6
4	800～1,000m未満	67	4.7
5	1,000m以上	26	1.8

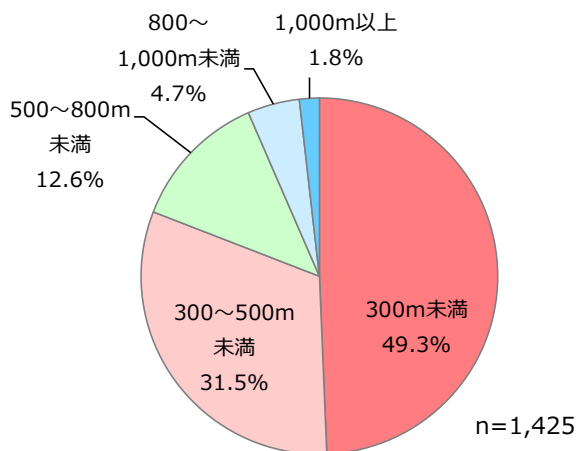


図 28 最寄りのバス停までの距離
(最寄りバス停の場所を知っている方のみ)

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

⑩ 路線バスを日常的に利用したいと思える最低限の運行頻度

□ 路線バスを日常的に利用したいと思える最低限の運行頻度では、10分に1本以上（1時間に6本）（29.1%）、15分に1本以上（1時間に4本）（33.5%）という結果であった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	10分に1本以上（1時間に6本）	581	29.1
2	15分に1本以上（1時間に4本）	670	33.5
3	30分に1本以上（1時間に2本）	225	11.3
4	1時間に1本	51	2.6
5	2時間に1本	2	0.1
6	1日に3～4本	2	0.1
7	1日3本未満でも構わない	19	1.0
8	わからない	450	22.5

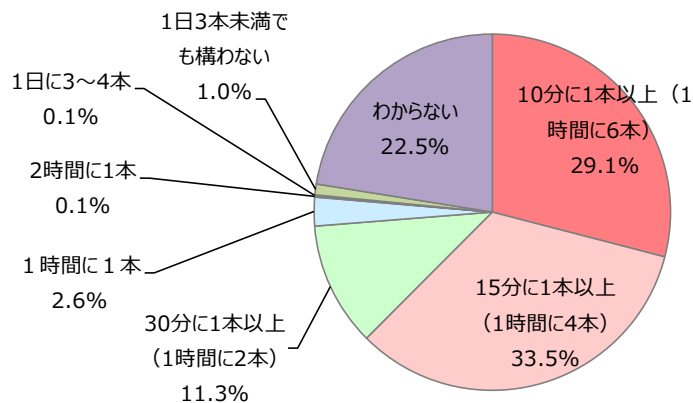


図 29 路線バスを日常的に利用したいと思える最低限の運行頻度

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

⑪ コミュニティバス、乗合タクシーの認知度

□ コミュニティバスの運行は47.7%が知っているが、乗合タクシーの運行認知度は21.7%であった。

【コミュニティバス】

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	知っている	953	47.7
2	知らなかった	1047	52.4

【乗合タクシー】

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	知っている	434	21.7
2	知らなかった	1566	78.3

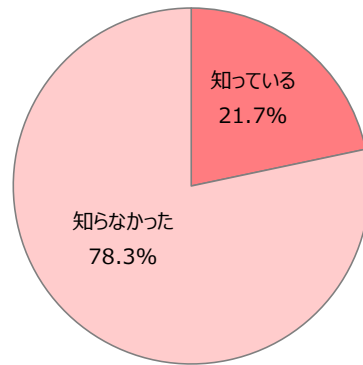
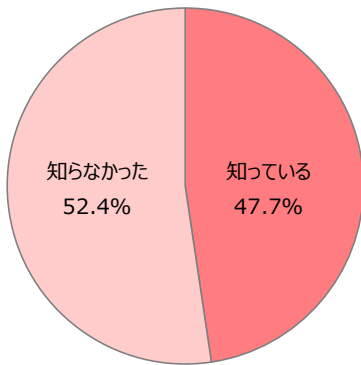


図 30 コミュニティバス、乗合タクシーの運行認知度

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

《過年度との比較》 H29 年度市民意識調査

	コミュニティバス		乗合タクシー	
	回答数	%	回答数	%
計	338	100	332	100
乗車したことがある	62	18.3	2	0.6
乗車したことはないが、知っている	151	44.7	63	19.0
乗車したことはなく、知らない（居住地エリアを運行していない）	125	37.0	267	80.4

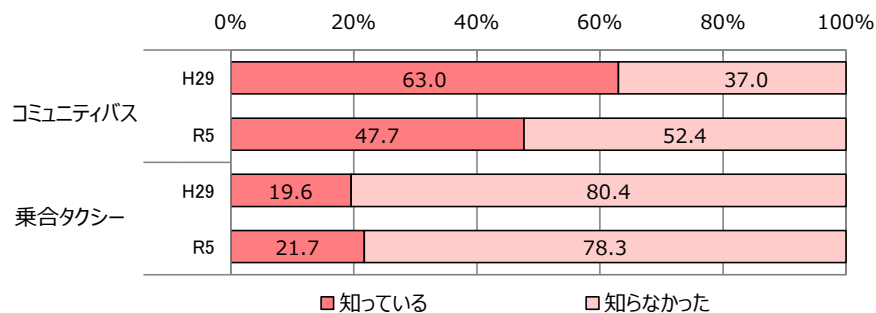


図 31 コミュニティバス、乗合タクシーの運行認知度（H29 年度／R5 年度比較）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない
 ※H29 は「乗車したことがある」「乗車したことはないが、知っている」を「知っている」とした

⑫ 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安

□ 免許を返納するなど自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、約5割が日常的な移動手段に不安がある・やや不安があるという結果であった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	不安がある	487	24.4
2	やや不安がある	558	27.9
3	あまり不安はない	473	23.7
4	不安はない	180	9.0
5	現在、自動車やバイクでの移動は行っていない	302	15.1

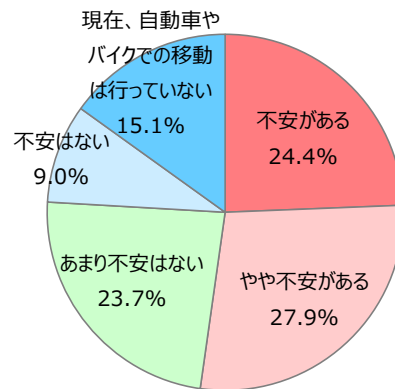


図 32 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

(i) 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（最寄り駅までの距離別）

□ 免許を返納するなど自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、「日常的な移動手段に不安がある・やや不安がある」は、最寄り駅までの距離が500m未満では39.6%であるが、1,500m以上になると65.0%という結果であった。

	最寄り駅までの距離									
	500m未満		500～1,000m未満		1,000～1,500m未満		1,500m以上		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	240	100.0	644	100.0	412	100.0	518	100.0	186	100.0
不安がある	35	14.6	125	19.4	104	25.2	185	35.7	38	20.4
やや不安がある	60	25.0	187	29.0	123	29.9	152	29.3	36	19.4
あまり不安はない	80	33.3	170	26.4	88	21.4	94	18.1	41	22.0
不安はない	24	10.0	72	11.2	34	8.3	37	7.1	13	7.0
現在、自動車やバイクでの移動は行っていない	41	17.1	90	14.0	63	15.3	50	9.7	58	31.2

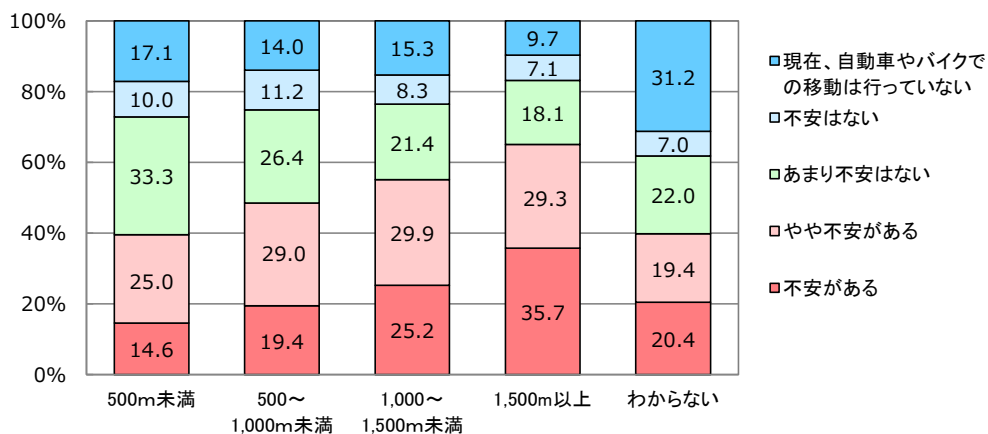


図 33 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（最寄り駅までの距離別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

(ii) 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（最寄りバス停までの距離別）

□ 免許を返納するなど自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、「日常的な移動手段に不安がある・やや不安がある」は、最寄りバス停までの距離が300m未満では52.4%であるが、1,000m以上になると69.2%という結果であった。

	最寄りバス停までの距離									
	300m未満		300～500m未満		500～800m未満		800～1,000m未満		1,000m以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	703	100.0	449	100.0	180	100.0	67	100.0	26	100.0
不安がある	167	23.8	132	29.4	38	21.1	24	35.8	13	50.0
やや不安がある	201	28.6	144	32.1	63	35.0	15	22.4	5	19.2
あまり不安はない	183	26.0	101	22.5	37	20.6	12	17.9	5	19.2
不安はない	78	11.1	31	6.9	11	6.1	3	4.5	0	0.0
現在、自動車やバイクでの移動は行っていない	74	10.5	41	9.1	31	17.2	13	19.4	3	11.5

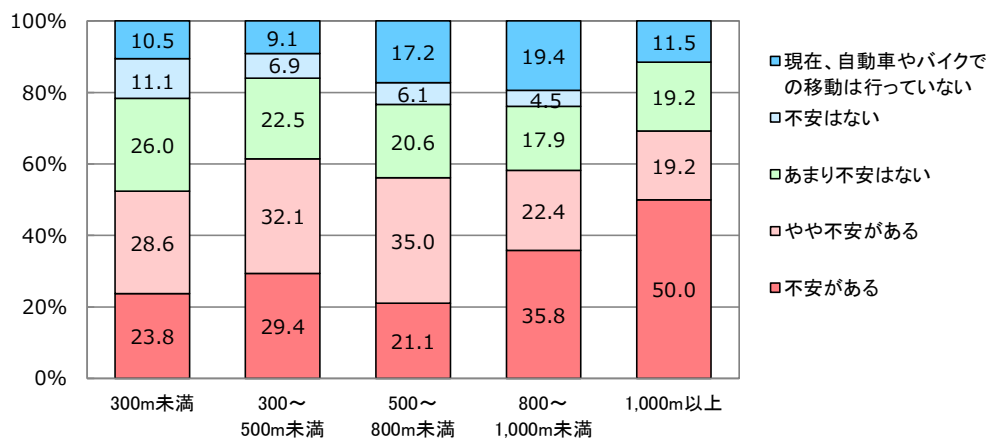


図 34 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（最寄りバス停までの距離別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

(iii) 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（年代別）

□ 免許を返納するなど自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合、「日常的な移動手段に不安がある・やや不安がある」は、65歳以上の高齢者では62.2%という結果であった。

	18-24歳		25-34歳		35-44歳		45-54歳		55-64歳		65歳以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	68	100.0	214	100.0	354	100.0	448	100.0	514	100.0	402	100.0
不安がある	7	10.3	38	17.8	76	21.5	111	24.8	136	26.5	119	29.6
やや不安がある	17	25.0	46	21.5	92	26.0	122	27.2	150	29.2	131	32.6
あまり不安はない	22	32.4	51	23.8	93	26.3	108	24.1	112	21.8	87	21.6
不安はない	6	8.8	18	8.4	36	10.2	38	8.5	47	9.1	35	8.7
現在、自動車やバイクでの移動は行っていない	16	23.5	61	28.5	57	16.1	69	15.4	69	13.4	30	7.5

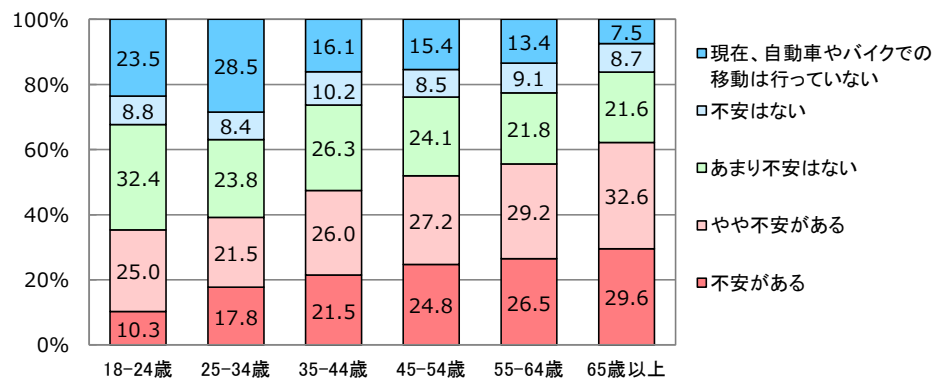


図 35 自動車やバイクでの移動が行えなくなった場合の日常的な移動手段に対する不安（年代別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも100%にならない

(iv) 日常的な移動手段に対する不安の内容

□ 日常的な移動手段に対する不安の内容では、「移動に時間がかかるなど生活が不便になる」(53.1%)、「移動手段が失われ、外出する機会が減る」(31.2%)という結果であった。

		回答数	%
全体		1698	100.0
1	移動手段が失われ、外出する機会が減る	529	31.2
2	移動に時間がかかるなど生活が不便になる	903	53.2
3	送迎などで家族に負担がかかる	197	11.6
4	その他	69	4.1

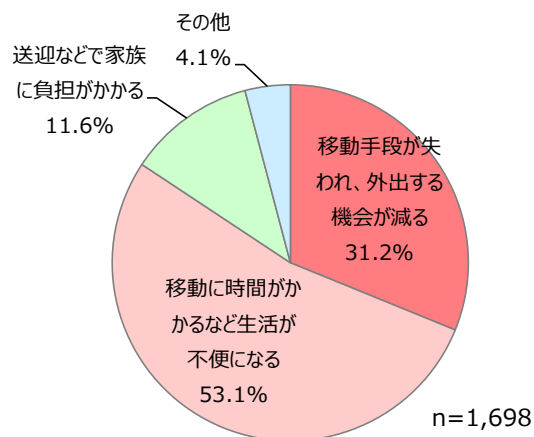


図 36 日常的な移動手段に対する不安の内容

(「現在、自動車やバイクでの移動は行っていない」以外の方のみ)

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

【その他自由回答】

- タクシーを利用する回数が増えてお金がかかる
- 駅まで6分なので交通手段買い物に不便はない
- 買い物の荷物
- 病気怪我などになった時の通院時
- 他の交通手段が豊富なので不安はない
- 電車もバスも乗場が近いので不安はない
- 今も殆ど利用していない
- あるだけでもありがたいと思う。世相を鑑みると公共交通機関の充実は難しいだろう
- 交通費がかかる
- 徒歩があり、駅又は、バス停が近い為
- 重いものを買えない
- 買い物・他に支障
- 孤独死
- 現状は問題ない
- 特に不安は無い
- 食料の買い出し、通院に支障が生じる
- 自転車
- 生活の変化
- もともと使っていない
- 大量の買い物ができなくなる
- 大きな荷物となる買い物
- 買い物が不便
- 仮定は分からない
- 通院ができない
- 身障者なのでバス停まで歩けないし、目的地までの移動ができない
- 荷物の運搬に支障が出る

(v) 日常的な移動手段に対する不安の内容（年代別）

□ 日常的な移動手段に対する不安の内容では、他年代と比較して 25～34 歳では「移動に時間がかかるなど生活が不便になる」(58.8%) が多くなっている。55～64 歳では「移動手段が失われ、外出する機会が減る」(34.2%) が多くなっている。

	18-24歳		25-34歳		35-44歳		45-54歳		55-64歳		65歳以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	52	100.0	153	100.0	297	100.0	379	100.0	445	100.0	372	100.0
移動手段が失われ、外出する機会が減る	15	28.8	39	25.5	86	29.0	122	32.2	152	34.2	115	30.9
移動に時間がかかるなど生活が不便になる	27	51.9	90	58.8	162	54.5	204	53.8	226	50.8	194	52.2
送迎などで家族に負担がかかる	9	17.3	22	14.4	47	15.8	41	10.8	40	9.0	38	10.2
その他	1	1.9	2	1.3	2	0.7	12	3.2	27	6.1	25	6.7

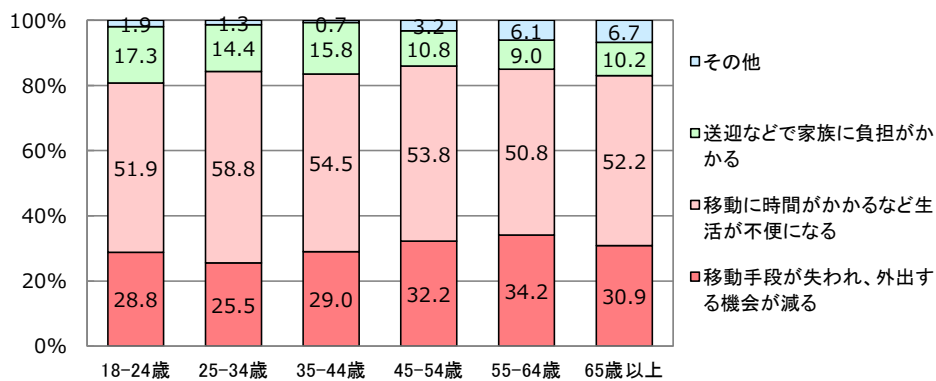


図 37 日常的な移動手段に対する不安の内容

(「現在、自動車やバイクでの移動は行っていない」以外の方のみ/年代別)

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

⑬ 日常生活において移動の時に最も困る場面

□ 日常生活において移動の時に最も困る場面は、私用（日用品の買い物）（18.2%）、通勤（15.9%）が多かった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	通勤	317	15.9
2	通学	26	1.3
3	業務	27	1.4
4	私用（日用品の買い物）	363	18.2
5	私用（日用品以外の買い物）	88	4.4
6	私用（友人・知人・家族等との食事・交流）	51	2.6
7	通院	185	9.3
8	送迎	28	1.4
9	その他	9	0.5
10	日常的な移動に困っていない	906	45.3

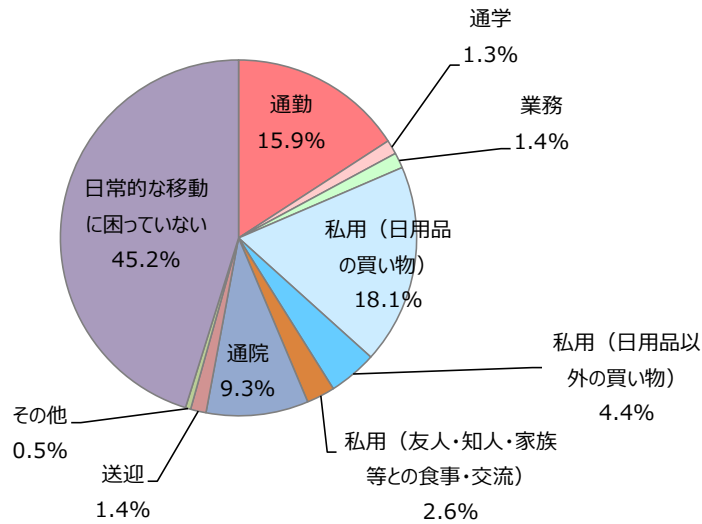


図 38 日常生活において移動の時に最も困る場面

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

(i) 日常生活において移動の時に最も困る場面（年代別）

□ 日常生活において移動の時に最も困る場面は、他年代と比較して 18～24 歳では通学（23.5%）、65 歳以上では通院（20.1%）が多かった。

	18-24歳		25-34歳		35-44歳		45-54歳		55-64歳		65歳以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
計	68	100.0	214	100.0	354	100.0	448	100.0	514	100.0	402	100.0
通勤	16	23.5	51	23.8	87	24.6	82	18.3	68	13.2	13	3.2
通学	16	23.5	5	2.3	2	0.6	3	0.7	0	0.0	0	0.0
業務	1	1.5	3	1.4	6	1.7	8	1.8	4	0.8	5	1.2
私用（日用品の買い物）	8	11.8	34	15.9	59	16.7	81	18.1	96	18.7	85	21.1
私用（日用品以外の買い物）	2	2.9	15	7.0	11	3.1	23	5.1	20	3.9	17	4.2
私用（友人・知人・家族等との食事・交流）	0	0.0	4	1.9	10	2.8	12	2.7	9	1.8	16	4.0
通院	2	2.9	9	4.2	15	4.2	33	7.4	45	8.8	81	20.1
送迎	0	0.0	3	1.4	9	2.5	6	1.3	4	0.8	6	1.5
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.3	1	0.2	3	0.6	4	1.0
日常的な移動に困っていない	23	33.8	90	42.1	154	43.5	199	44.4	265	51.6	175	43.5

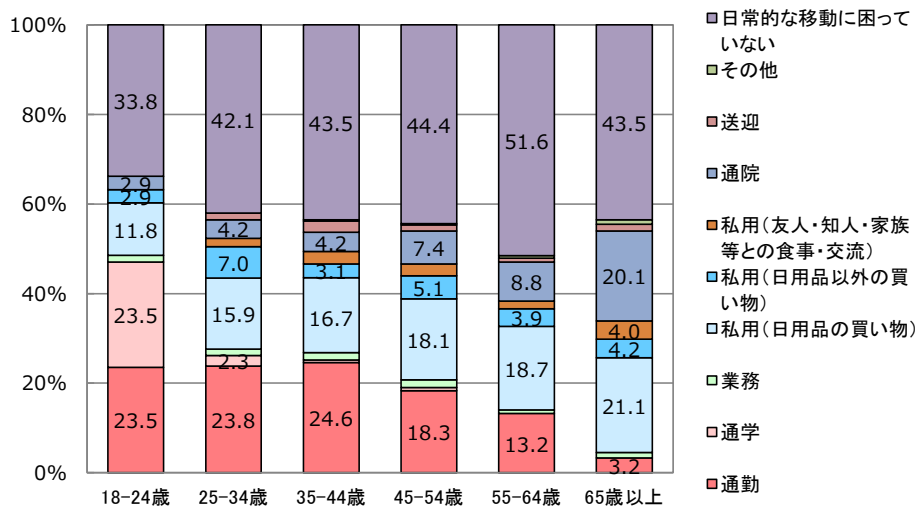


図 39 日常生活において移動の時に最も困る場面（年代別）

※構成比は端数処理の都合上合計は必ずしも 100%にならない

(ii) 具体的に困っている内容

□ 具体的に困っている内容では、鉄道・路線バスでは「鉄道や路線バスの運行本数が少ない（19.6%）」、自動車では「交通渋滞により目的地まで時間がかかる（17.9%）」、自転車・徒歩では「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある（20.1%）」が多かった。

全体		回答数	%
全体		1094	100.0
1	鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	196	17.9
2	鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	82	7.5
3	鉄道や路線バスのルートが合わない	181	16.5
4	鉄道や路線バスの運行本数が少ない	214	19.6
5	鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	108	9.9
6	鉄道や路線バスが時間通りに運行されていない	99	9.0
7	鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	116	10.6
8	鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	171	15.6
9	鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	171	15.6
10	身体的に自動車の運転に不安がある	72	6.6
11	目的地周辺に駐車スペースが少ない	137	12.5
12	交通渋滞により目的地まで時間がかかる	196	17.9
13	駐車にかかる費用負担が大きい	174	15.9
14	送迎してもらう必要があり自分の時間で行動できない	93	8.5
15	身体的に自転車の運転に不安がある	82	7.5
16	自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	142	13.0
17	高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	139	12.7
18	道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある	220	20.1
19	その他	50	4.6

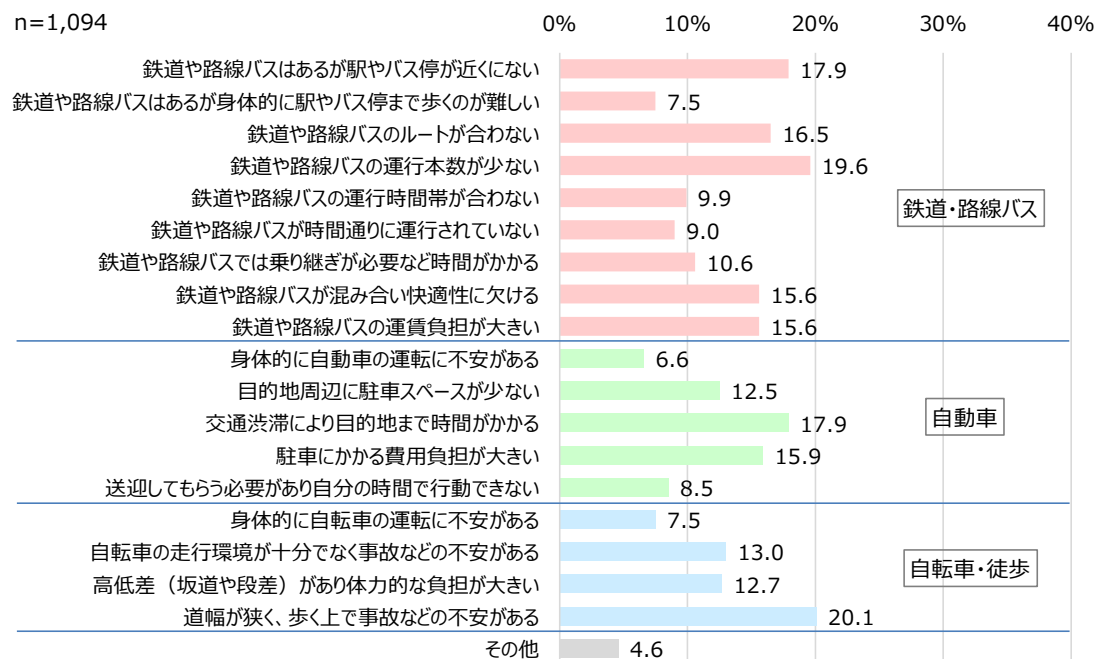


図 40 具体的に困っている内容

（「日常的な移動に困っていない」方を除く／複数回答）

(iii) 具体的に困っている内容（区別）

- 岩槻区：「鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない」（30.1%）、「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（28.8%）等、公共交通について困っている回答が多かった。
- 緑区：「鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない」（25.0%）、「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（22.6%）等、公共交通について困っている回答の他、「交通渋滞により目的地まで時間がかかる」（23.4%）、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（21.0%）、「高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい」（20.2%）等、自動車や自転車・徒歩について困っている回答が多かった。
- 南区：「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（19.7%）がやや多いが、困っている事柄は少ない傾向である。
- 浦和区：「鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける」（27.7%）、「交通渋滞により目的地まで時間がかかる」（23.4%）、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（21.3%）等、道路の混雑や渋滞に困っている回答が多かった。
- 桜区：「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（24.3%）、「鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない」（21.4%）、「鉄道や路線バスのルートが合わない」（20.0%）等、公共交通について困っている回答の他、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（24.3%）等、自転車・徒歩について困っている回答が多かった。
- 中央区：「鉄道や路線バスの運賃負担が大きい」（24.0%）等、運賃の高さに困っている回答が多かった。
- 見沼区：「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（26.3%）、「鉄道や路線バスのルートが合わない」（24.1%）等、公共交通について困っている回答の他、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（21.8%）等、自転車・徒歩について困っている回答が多かった。
- 北区：「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（23.1%）の他、「駐車にかかる費用負担が大きい」（21.5%）、「交通渋滞により目的地まで時間がかかる」（20.0%）等、自動車について困っている回答が多かった。
- 西区：「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」（28.4%）、「鉄道や路線バスのルートが合わない」（20.9%）等、公共交通について困っている回答の他、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」（31.3%）等、自転車・徒歩について困っている回答が多かった。
- 大宮区：「鉄道や路線バスの運賃負担が大きい」（20.2%）等、運賃の高さに困っている回答が多かった。

	岩槻区		緑区		南区		浦和区		桜区	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
区回答者数	73	100.0	124	100.0	157	100.0	141	100.0	70	100.0
1 鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	22	30.1	31	25.0	18	11.5	23	16.3	15	21.4
2 鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	8	11.0	9	7.3	12	7.6	9	6.4	5	7.1
3 鉄道や路線バスのルートが合わない	9	12.3	16	12.9	20	12.7	20	14.2	14	20.0
4 鉄道や路線バスの運行本数が少ない	21	28.8	28	22.6	25	15.9	18	12.8	17	24.3
5 鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	13	17.8	15	12.1	11	7.0	9	6.4	5	7.1
6 鉄道や路線バスが時間通りに運行されていない	6	8.2	13	10.5	17	10.8	10	7.1	5	7.1
7 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	8	11.0	13	10.5	17	10.8	8	5.7	10	14.3
8 鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	6	8.2	18	14.5	25	15.9	39	27.7	5	7.1
9 鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	11	15.1	20	16.1	17	10.8	25	17.7	11	15.7
10 身体的に自動車の運転に不安がある	7	9.6	7	5.6	10	6.4	9	6.4	2	2.9
11 目的地周辺に駐車スペースが少ない	10	13.7	21	16.9	16	10.2	16	11.3	12	17.1
12 交通渋滞により目的地まで時間がかかる	13	17.8	29	23.4	24	15.3	33	23.4	10	14.3
13 駐車にかかる費用負担が大きい	10	13.7	22	17.7	25	15.9	24	17.0	12	17.1
14 送迎してもらい必要があり自分の時間で行動できない	10	13.7	8	6.5	16	10.2	9	6.4	3	4.3
15 身体的に自転車の運転に不安がある	9	12.3	12	9.7	8	5.1	10	7.1	5	7.1
16 自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	10	13.7	22	17.7	12	7.6	17	12.1	11	15.7
17 高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	7	9.6	25	20.2	24	15.3	17	12.1	6	8.6
18 道幅が狭く、歩くと事故などの不安がある	12	16.4	26	21.0	31	19.7	30	21.3	17	24.3
19 その他	2	2.7	4	3.2	10	6.4	3	2.1	5	7.1

	中央区		見沼区		北区		西区		大宮区	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
区回答者数	75	100.0	133	100.0	130	100.0	67	100.0	124	100.0
1 鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	7	9.3	32	24.1	20	15.4	11	16.4	17	13.7
2 鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	7	9.3	9	6.8	7	5.4	3	4.5	13	10.5
3 鉄道や路線バスのルートが合わない	14	18.7	32	24.1	23	17.7	14	20.9	19	15.3
4 鉄道や路線バスの運行本数が少ない	10	13.3	35	26.3	30	23.1	19	28.4	11	8.9
5 鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	8	10.7	11	8.3	19	14.6	7	10.4	10	8.1
6 鉄道や路線バスが時間通りに運行されていない	6	8.0	15	11.3	10	7.7	7	10.4	10	8.1
7 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	8	10.7	8	6.0	15	11.5	12	17.9	17	13.7
8 鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	11	14.7	12	9.0	23	17.7	12	17.9	20	16.1
9 鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	18	24.0	18	13.5	18	13.8	8	11.9	25	20.2
10 身体的に自動車の運転に不安がある	5	6.7	11	8.3	8	6.2	4	6.0	9	7.3
11 目的地周辺に駐車スペースが少ない	12	16.0	14	10.5	11	8.5	13	19.4	12	9.7
12 交通渋滞により目的地まで時間がかかる	14	18.7	18	13.5	26	20.0	11	16.4	18	14.5
13 駐車にかかる費用負担が大きい	13	17.3	14	10.5	28	21.5	9	13.4	17	13.7
14 送迎してもらい必要があり自分の時間で行動できない	7	9.3	15	11.3	7	5.4	4	6.0	14	11.3
15 身体的に自転車の運転に不安がある	2	2.7	19	14.3	2	1.5	2	3.0	13	10.5
16 自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	5	6.7	20	15.0	19	14.6	12	17.9	14	11.3
17 高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	9	12.0	16	12.0	8	6.2	8	11.9	19	15.3
18 道幅が狭く、歩くと事故などの不安がある	11	14.7	29	21.8	22	16.9	21	31.3	21	16.9
19 その他	5	6.7	10	7.5	4	3.1	3	4.5	4	3.2

※ : 回答割合が20%以上の項目

図 41 具体的に困っている内容
 （「日常的な移動に困っていない」方を除く／複数回答／区別）

(iv) 具体的に困っている内容（世代別）

- 18～24 歳では「鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける」（33.3%）が多かった。
- 25～64 歳では「鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない」、「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」等、公共交通について困っている回答の他、「交通渋滞により目的地まで時間がかかる」、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」等、道路の混雑や渋滞に困っている回答が多かった。
- 65 歳以上では「鉄道や路線バスのルートが合わない」（21.1%）、「自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある」（21.1%）等、公共交通や自転車・徒歩について困っている回答が多かった。

	18-24歳		25-34歳		35-44歳		45-54歳		55-64歳		65歳以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
区回答者数	45	100.0	124	100.0	200	100.0	249	100.0	249	100.0	227	100.0
1 鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	4	8.9	28	22.6	38	19.0	46	18.5	51	20.5	29	12.8
2 鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	1	2.2	15	12.1	12	6.0	14	5.6	16	6.4	24	10.6
3 鉄道や路線バスのルートが合わない	5	11.1	20	16.1	36	18.0	36	14.5	36	14.5	48	21.1
4 鉄道や路線バスの運行本数が少ない	7	15.6	19	15.3	30	15.0	57	22.9	56	22.5	45	19.8
5 鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	5	11.1	9	7.3	28	14.0	36	14.5	18	7.2	12	5.3
6 鉄道や路線バスが時間通りに運行されていない	4	8.9	9	7.3	20	10.0	30	12.0	17	6.8	19	8.4
7 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	4	8.9	11	8.9	17	8.5	34	13.7	23	9.2	27	11.9
8 鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	15	33.3	22	17.7	34	17.0	44	17.7	37	14.9	19	8.4
9 鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	6	13.3	15	12.1	28	14.0	38	15.3	39	15.7	45	19.8
10 身体的に自動車の運転に不安がある	2	4.4	7	5.6	12	6.0	16	6.4	16	6.4	19	8.4
11 目的地周辺に駐車スペースが少ない	3	6.7	12	9.7	31	15.5	25	10.0	32	12.9	34	15.0
12 交通渋滞により目的地まで時間がかかる	4	8.9	17	13.7	45	22.5	60	24.1	44	17.7	26	11.5
13 駐車にかかる費用負担が大きい	3	6.7	16	12.9	39	19.5	40	16.1	42	16.9	34	15.0
14 送迎してもらい必要があり自分の時間で行動できない	3	6.7	13	10.5	18	9.0	16	6.4	14	5.6	29	12.8
15 身体的に自転車の運転に不安がある	1	2.2	6	4.8	9	4.5	13	5.2	17	6.8	36	15.9
16 自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	0	0.0	11	8.9	26	13.0	32	12.9	25	10.0	48	21.1
17 高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	5	11.1	10	8.1	21	10.5	26	10.4	32	12.9	45	19.8
18 道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある	8	17.8	31	25.0	41	20.5	53	21.3	45	18.1	42	18.5
19 その他	0	0.0	5	4.0	4	2.0	9	3.6	13	5.2	19	8.4

※ : 回答割合が 20%以上の項目

図 42 具体的に困っている内容
 （「日常的な移動に困っていない」方を除く／複数回答／年代別）

(v) 具体的に困っている内容（最寄り駅までの距離別）

- 最寄り駅までの距離が 500m 未満では「交通渋滞により目的地まで時間がかかる」(23.0%)、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」(21.2%) 等、道路の混雑や渋滞に困っている回答が多かった。
- 最寄り駅までの距離が 1,500m 以上では「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」(26.6%)、「鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない」(26.3%) 等、公共交通について困っている回答が多かった。

	最寄り駅までの距離									
	500m未満		500～1,000m未満		1,000～1,500m未満		1,500m以上		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
区回答者数	113	100.0	340	100.0	235	100.0	320	100.0	86	100.0
鉄道・路線バス										
1 鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	7	6.2	42	12.4	49	20.9	84	26.3	14	16.3
2 鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	10	8.8	20	5.9	13	5.5	30	9.4	9	10.5
3 鉄道や路線バスのルートが合わない	13	11.5	63	18.5	41	17.4	54	16.9	10	11.6
4 鉄道や路線バスの運行本数が少ない	15	13.3	61	17.9	39	16.6	85	26.6	14	16.3
5 鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	11	9.7	29	8.5	20	8.5	35	10.9	13	15.1
6 鉄道や路線バスが時間通りに運行されていない	8	7.1	19	5.6	24	10.2	37	11.6	11	12.8
7 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	5	4.4	31	9.1	36	15.3	35	10.9	9	10.5
8 鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	19	16.8	64	18.8	37	15.7	39	12.2	12	14.0
9 鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	15	13.3	47	13.8	40	17.0	53	16.6	16	18.6
自動車										
10 身体的に自動車の運転に不安がある	9	8.0	19	5.6	18	7.7	22	6.9	4	4.7
11 目的地周辺に駐車スペースが少ない	15	13.3	43	12.6	35	14.9	37	11.6	7	8.1
12 交通渋滞により目的地まで時間がかかる	26	23.0	60	17.6	43	18.3	58	18.1	9	10.5
13 駐車にかかる費用負担が大きい	15	13.3	58	17.1	41	17.4	51	15.9	9	10.5
14 送迎してもらう必要があり自分の時間で行動できない	7	6.2	28	8.2	20	8.5	28	8.8	10	11.6
15 身体的に自転車の運転に不安がある	9	8.0	21	6.2	24	10.2	20	6.3	8	9.3
自転車・徒歩										
16 自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	12	10.6	44	12.9	32	13.6	41	12.8	13	15.1
17 高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	12	10.6	35	10.3	42	17.9	44	13.8	6	7.0
18 道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある	24	21.2	62	18.2	49	20.9	63	19.7	22	25.6
19 その他	9	8.0	20	5.9	6	2.6	12	3.8	3	3.5

※ : 回答割合が 20%以上の項目

図 43 具体的に困っている内容

(「日常的な移動に困っていない」方を除く／複数回答／最寄り駅までの距離別)

(vi) 具体的に困っている内容（最寄りバス停までの距離別）

□ 最寄りバス停までの距離が 800m 以上になると「鉄道や路線バスの運行本数が少ない」、「道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある」、「駐車にかかる費用負担が大きい」等、公共交通、自動車、自転車・徒歩について困っている回答が多くなった。

	最寄りバス停までの距離									
	300m未満		300~500m未満		500~800m未満		800~1,000m未満		1,000m以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
区回答者数	384	100.0	265	100.0	107	100.0	44	100.0	18	100.0
1 鉄道や路線バスはあるが駅やバス停が近くにない	35	9.1	47	17.7	36	33.6	13	29.5	4	22.2
2 鉄道や路線バスはあるが身体的に駅やバス停まで歩くのが難しい	21	5.5	18	6.8	10	9.3	5	11.4	3	16.7
3 鉄道や路線バスのルートが合わない	52	13.5	54	20.4	25	23.4	5	11.4	2	11.1
4 鉄道や路線バスの運行本数が少ない	71	18.5	58	21.9	20	18.7	16	36.4	4	22.2
5 鉄道や路線バスの運行時間帯が合わない	29	7.6	29	10.9	12	11.2	10	22.7	4	22.2
6 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	38	9.9	27	10.2	5	4.7	9	20.5	0	0.0
7 鉄道や路線バスでは乗り継ぎが必要など時間がかかる	46	12.0	31	11.7	11	10.3	7	15.9	2	11.1
8 鉄道や路線バスが混み合い快適性に欠ける	63	16.4	34	12.8	19	17.8	9	20.5	3	16.7
9 鉄道や路線バスの運賃負担が大きい	63	16.4	45	17.0	13	12.1	10	22.7	5	27.8
10 身体的に自動車の運転に不安がある	21	5.5	16	6.0	5	4.7	5	11.4	5	27.8
11 目的地周辺に駐車スペースが少ない	54	14.1	35	13.2	7	6.5	9	20.5	2	11.1
12 交通渋滞により目的地まで時間がかかる	75	19.5	38	14.3	19	17.8	9	20.5	4	22.2
13 駐車にかかる費用負担が大きい	56	14.6	41	15.5	17	15.9	14	31.8	4	22.2
14 送迎してもらう必要があり自分の時間で行動できない	28	7.3	33	12.5	5	4.7	2	4.5	1	5.6
15 身体的に自転車の運転に不安がある	32	8.3	11	4.2	4	3.7	3	6.8	3	16.7
16 自転車の走行環境が十分でなく事故などの不安がある	46	12.0	35	13.2	12	11.2	10	22.7	3	16.7
17 高低差（坂道や段差）があり体力的な負担が大きい	55	14.3	31	11.7	13	12.1	12	27.3	2	11.1
18 道幅が狭く、歩く上で事故などの不安がある	68	17.7	54	20.4	21	19.6	16	36.4	3	16.7
19 その他	18	4.7	15	5.7	3	2.8	0	0.0	0	0.0

※ : 回答割合が 20%以上の項目

図 44 具体的に困っている内容

（「日常的な移動に困っていない」方を除く／複数回答／最寄りバス停までの距離別）

⑭ あなたのライフスタイルにとって都市や移動が将来的にどうなってほしいか

都市や移動が将来的にどうなってほしいかに対して、「自動車中心ではなく歩行者が居心地よく歩ける空間が整備される（44.2%）」が多かった。

		回答数	%
全体		2000	100.0
1	デジタル化が進むことで場所や時間にとらわれない働き方ができる	688	34.4
2	都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に地方部でのんびり過ごしたり、仕事をしたりして過ごせる	390	19.5
3	自動車や自転車のシェアサービスが広まり、日常的に利用できる	462	23.1
4	自動運転による輸送サービスが広まり、日常的に利用できる	666	33.3
5	自動車中心ではなく歩行者が居心地よく歩ける空間が整備される	883	44.2
6	その他	43	2.2

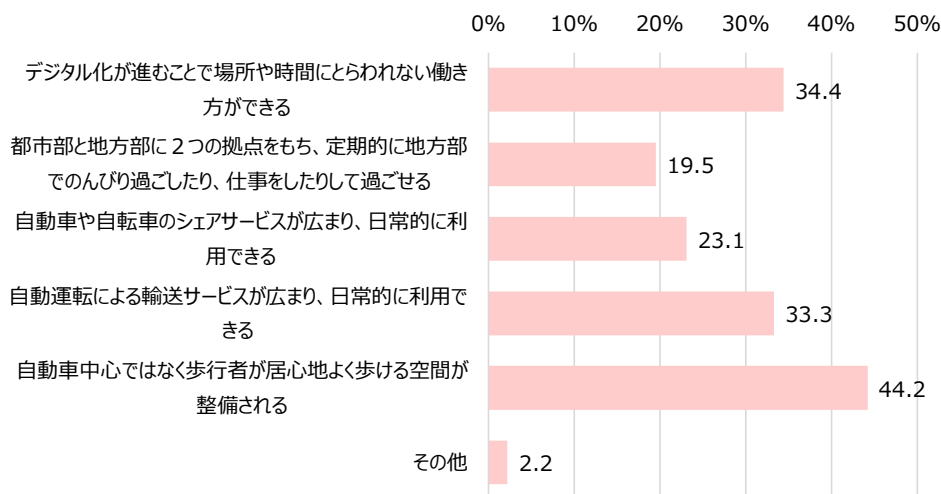


図 45 あなたのライフスタイルにとって都市や移動が将来的にどうなってほしいか

【その他自由意見】

- システムに人が合わせざるを得なくなる。
- こんな夢は100年後でも無理!!!
- 道路の拡張と整備
- 地域をコンパクトにする
- ない。不安だらけ。
- 交通ルールの順守
- 誰のために何をするのが考えられていない
- ほとんどのことがお金を持っている人たちでなければ利益を受けられない
- そんな先のことは考えられない
- 自分のイメージとは異なる
- バスは無くさないで欲しい
- 生きている間に変わらないと思う何時になるかわからない
- 中国などの実験では、すでに外部からのハッキングで妨害できるなどの報告もあり、自動運転は問題が多すぎるので何があっても利用しない
- 子供達が安心して通れる道の整備? 駅してもらいたい!
- 基本的に自動化、無人化は嫌いです。車の自動化は特に必要ありません。
- 防犯性を高めてほしい
- 原因に対する手当が的外れのように感じる。人口減少の根本的な原因（中流層の賃金低下）への対策や移民合法化を避け、人口減少を既定路線とし、そこへの手当としてライドシェアやIT導入を提示されても同意出来ない
- あまり必要性を感じない

【参考 30年後の変化】

① デジタル化による新たな生活スタイル

場所・時間に捉われない働き方が可能に

【起床】「お風呂ロボット」
お風呂の準備や掃除、洗濯などの作業をロボットが代わりにしてくれるお風呂ロボット。

【会社】「職場スイッチ」
複数の仕事に、自分の空いた時間で複数の働き先をシフトし、1つの仕事に専念する働き方。

資料：総務省「未来イメージ「15の生活シーン」(案)」

② 多様な住まい方はあたりまえ

国土交通省の調査では6割の方が二地域居住に興味あり

【都市部】利便性の高い働く場

【地方部】ゆとりある生活の場

平日は都市部で暮らし、仕事をすする

週末は地方で田舎暮らしをする

資料：全国二地域居住等促進協議会ホームページ

③ クルマも「持つ」から「使う」ものに

シニア層も8割以上はスマホを使用

世代	スマホ	ガラケー	未所有
60代	93%	5%	2%
70代	79%	15%	6%

資料：政府広報オンライン
資料：NTTドコモモバイル社会研究所「研究レポート2023.3.27」

④ ヒト・モノの移動は自動化・無人化

現在	2025年まで	未来
運転支援や高速道路のハンドル自動操作	限定地域での無人自動運転移動サービス	完全自動運転

資料：国土交通省「自動運転の実現に向けた国土交通省の取り組み」

⑤ まちなかはヒト中心の空間に

居心地がよく歩きたくなるまちなか

Walkable Eye level Diversity Open

資料：国土交通省「まちなかウォークアブル推進プログラム」

⑥ 忍びよる、人口減少の影響

20年後2万人減 利便性・地域の魅力低下のスパイラル

2010年 122.2万人
2020年 132.4万人
2040年 130.2万人

負のスパイラル 持続不可能なまち

まちの魅力低下 → 人口減少 & 高齢化 → 経済の縮小 → 社会資本の劣化 & 行政サービスの質の低下 → まちの魅力低下

資料：国勢調査・国立社会保障人口問題研究所「将来人口推計」

⑦ 公共交通が使えなくなる!?

9割以上の事業者が赤字

人流抑制により、バス業界は危機的

乗合バス事業者収支(2021年度)

- 赤字事業者 94%
- 黒字事業者 6%

資料：国土交通省「令和4年度交通の動向及び令和5年度交通施策」
公益社団法人日本バス協会「プレスリリース(2023年5月)」

⑧ 激甚化する災害への備えを

強い雨(1時間降水量80mm以上)の発生回数は年々増加

市街地でも浸水の可能性

年代	発生回数(回/年)
1980年代	15.8
1990年代	17.7
2000年代	20.3
2010年代	24.3

資料：気象庁「全国(アメダス)の1時間降水量」
資料：さいたま市都市計画課資料

⑮ 満足度と重要性の比較

- 鉄道はさいたま市において重要な交通手段だと認識されており、満足度も高くなっている。
- 一方で、同じ公共交通である高速バス、路線バス、コミュニティバス・乗合タクシー、タクシーはいずれも相対的に満足度が低くなっている。
- 特に路線バスについては重要だと認識されているにもかかわらず満足度が低くなっている。

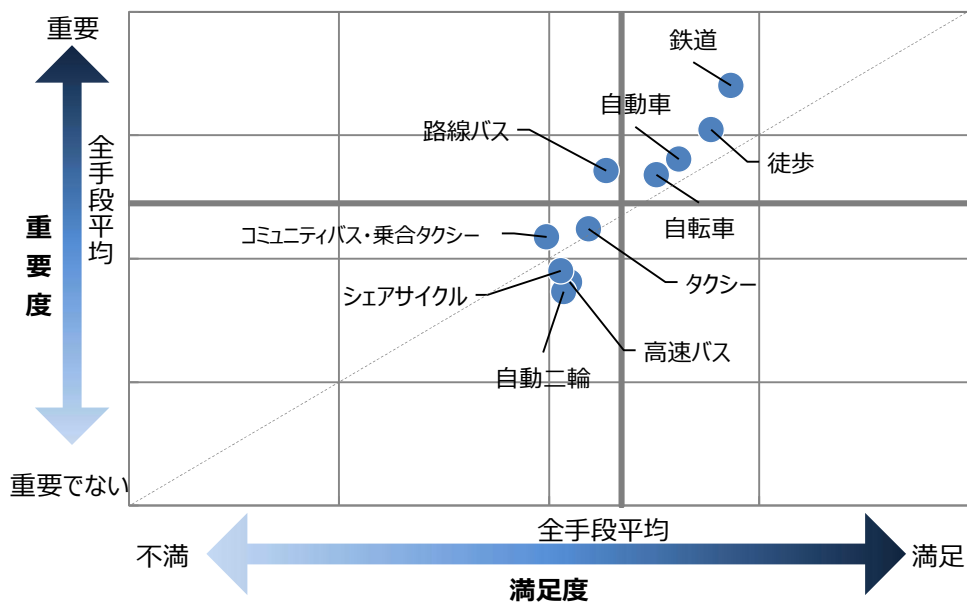


図 46 交通手段別の利便性に対する満足度と重要性の比較